

三田市立幼稚園再編計画（案）出張意見交換会概要

出張意見交換会を、希望される方からのお申し出により開催しました。

意見交換の内容を市民の皆さんと共有するため、その概要（主な意見）をお知らせします。

1 受付・開催期間：8月10日～9月30日

2 開催回数：6回

3 概要

(1) [日時]8月10日（火）11時～13時 [開催場所]高平幼稚園区内

[主な意見（概要）]

- ① 教育は人数で決まるものではない。「適正規模」という表現ではなく、公教育として三田市の考える規模と説明すべきである。意見交換をする中で、計画案の修正は、どの程度可能か。
- ② 道中の安全対策も含めて、安全確保が必要。
- ③ 今後、どのように進めるのか。

[市からの回答（概要）]

- ① 幼稚園として幼児教育をするために15人以上が望ましいというのが、三田市の公教育としての考え方であり、幼稚園を集約し、保育サービスを拡充することで規模が確保できると考える。計画の根本となる公教育としての集団規模の確保、認定こども園化について、変えることは考えていない。設置場所は、一般的に利便性が高いと考えられるところを提案しているので、ゼロベースで考えるのは難しい。
- ② 安全対策については、最善の方法を検討する。
- ③ 9月末まで出張意見交換会を開催した後、計画案の修正作業を行い、総合教育会議での議論を経て、パブリックコメントを実施する予定である。

(2) [日時]8月30日（月）13時～15時 [開催場所]高平幼稚園区内

[主な意見（概要）]

- ① 反対意見が多数の場合は、白紙撤回することはあるのか。
- ② 子育て、保育ニーズは多様化している。0～2歳児の保育ニーズに答えられるのか。
- ③ 閉園後の施設活用のアイデアがある人もいる。市と話しながら進められないか。

[市からの回答（概要）]

- ① 認定こども園化で保育ニーズに対応でき、集団規模が確保できると考える。計画案の修正は必要であるが、白紙撤回は考えていない。
- ② この再編計画での対応は難しい。今後、引き続き検討していきたい。
- ③ 施設の活用はいろいろな可能性がある。地域の皆さんと協議しながら考えていきたい。

(3) [日時]9月4日(土)19時~20時 [開催場所]本庄幼稚園区内

[主な意見(概要)]

- ① 小・中学校の再編が先。小学校が再編されれば幼稚園の統合場所も決まる。幼・小・中とも新設されれば、みんなが納得する。
- ② 広野は交通量も多く危険。本庄の方が安全ではないか。
- ③ 今のままの幼稚園で十分と思っている。少人数には少人数の良さがある。

[市からの回答(概要)]

- ① 3歳頃から子どもは社会性が伸びてくる。その時期に、子どもたちが多くの友だちとふれ合う環境を作りたい。小・中学校に関するご意見は担当部に伝える。
- ② 保護者の送迎車両と通園バスの動線など、安全性の確保については十分に検討する。
- ③ 少人数を否定しているわけではない。市立幼稚園では、一定の集団規模を確保して幼児教育を行うことが望ましいと考えている。

(4) [日時]9月11日(土)14時~16時 [開催場所]高平幼稚園区内

[主な意見(概要)]

- ① 市の移住施策も高平を一番にもってきているのは、市が高平を魅力のある農村部と認めているからではないのか。移住を呼び込む施策を取りながら、幼稚園をなくすのは、やっていることがバラバラではないか。
- ② 園児数が増えれば、高平幼稚園は残るのか。園児を集めるために、ニュータウンから通園バスを農村部の幼稚園に走らせてはどうか。通園バスがあれば、ニュータウンから通園する人がいるかもしれない。
- ③ 今回の再編は、対象園区の人たちのためというのが前提。2号認定の子どもも含めて園区内の人が入れないことのないようにしてほしい。
- ④ 松が丘幼稚園を残すのであれば、志手原園区は松が丘に行くこともできる。高平幼稚園を認定こども園にすれば選択肢が増える。こうした意見を市長にも知ってほしい。

[市からの回答(概要)]

- ① 共働き世帯も利用できるよう、就業先に近いアクセスのよい場所に認定こども園を作ることで、より多くのお子さんが集まる施設にしたいと考えている。そうすることで、若い世代が地域に戻ってくる、あるいは共働きでも移住してきて住みやすい地域になると考える。
- ② 仮にバスを出してニュータウンを周って園児を集めても、安定した人数を継続して確保できるかが問題である。通園バスは再編対象園区の通園補償として考えているものである。公教育は継続性が重要で、同じ環境を提供していくことが望ましい。
- ③ 現在の想定では、1号認定のお子さんは全員受け入れられると考えている。2号認定のお子さんは、保育の必要性を指数化して判断することになる。

- ④ こうした意見交換会等の内容は、市長に報告し、庁内で情報共有している。

(5) [日時]9月11日(土)17時～19時 [開催場所]志手原幼稚園区内

[主な意見(概要)]

- ① 通園バスは何台の予定か。どのようなルートか。
- ② 通園バスの降車は、小学校前のバス停を利用してはどうか。
- ③ 認定こども園化に向けた改築工事中、小野幼稚園に通うのではなく、小学校の空き教室の活用や仮設園舎の設置はできないか。
- ④ 幼稚園再編と小学校再編と紐づいてしまう。認定こども園を小学校と隣接したところではなく別のところに建設してはどうか。

[市からの回答(概要)]

- ① 東と西の認定こども園それぞれに2台ずつを予定している。具体的なルートは実際に通われるお子さんの保護者の方々と協議して決める。
- ② バス会社との協議・調整が必要である。
- ③ 選択肢の一つとしては考えられる。最適な方法を検討する。
- ④ 財政的にも新設園は難しく、既存幼稚園を活用する計画案としている。

(6) [日時]9月15日(水)14時15分～16時15分 [開催場所]本庄幼稚園区内

[主な意見(概要)]

- ① 認定こども園の設置場所は、通園バスを走らせるなら本庄でもよいのではないか。
- ② 幼稚園に集団が必要なのは理解できるが、場所が広野なのか。これから移住定住のことを考えると本庄地域に残しておくことも必要ではないか。
- ③ ニュータウンにバスを走らせて本庄幼稚園に来られるようにしたらよいのではないか。
- ④ 本庄幼稚園を残す案を考えてほしい。

[市からの回答(概要)]

- ① 認定こども園化は就労支援でもあり、共働きの方も利用できるような施設にしたいと考えている。就業する方の一般的なアクセスを考えたときにその途中にある施設を活用することがよいと考えている。
- ② 移住定住施策の観点からのご意見として庁内で共有する。
- ③ その方法では、継続的に集団規模を確保することは難しいと考える。
- ④ 幼稚園のまま残しても一定の集団規模を確保することは困難と考える。